

自治会はこんな『活動』をしています

安心して子育てができ、子どもが遊び、学び、高齢者も不安を持たずに生活することができる...そんな地域づくりに「自治会」は取り組んでいます。今月は、自治会の地域での役割などを紹介します。

支えあい

登下校時の見守り活動を目にしたことはありませんか？自治会は高齢者や障害者、子ども達が安心して暮らせるように、声掛けや登下校時の見守りを行っています



ふれあい

地域の人たちの集う夏祭りや運動会などの年中行事を行っています。顔が見える関係はお互いの信頼を深め、地域生活をよりよいものにしてくれます。いろいろな世代の交流の機会でもあります



安全・安心

防犯パトロールや防犯灯の維持管理、防災訓練、地域の清掃なども自治会が行っています。地域の「安全・安心」のための活動をしています



情報共有

「広報さやま」、「生活ごみの分け方・出し方」などを自治会がお手元にお届けしています。回覧板を使って地域のイベントやお知らせのほか、災害時要援護者のサポートをするための情報共有もしています



いざというときに頼りになるのが
ご近所のつながり、それが自治会です！

と、思っている方はいませんか？

活動内容が分からない

自治会なんて面倒くさい

役員になりたくない

私がやらなくてもいいんじゃない？

仕事が忙しくて関われない

自治会掲示板

「Well-beingウォーキング in 狭山」を開催～市内の自治会が一っに！

11月2日(日) 狭山市自治会連合会と西武鉄道(株) 市が合同で「Well-beingウォーキング in 狭山」を開催しました。中原公園(新狭山)をスタートした約2,500名が、「奥喜かかし祭り」や沿線を歩き、自然や風景を楽しんだ秋の一日となりました。コース中には、各地区の自治会連合会が協力して5つのおもてなし会場を設置。狭山の伝統芸能やよさこいソーランなどを笑演。また、豚汁やおにぎりなどの軽食をふるまいました。



「自治会加入促進に関する協定」を結びました

10月30日(木) 狭山市自治会連合会と公益社団法人埼玉県宅地建物取引業協会彩西支部と市が「自治会加入促進に関する協定」を結びました。今後、三者が連携して、自治会加入の働きかけをしていきます。



地域のことは地域で

狭山市の世帯数から見た自治会加入率は74%(平成26年4月1日現在)。少子高齢化や一人暮らし世帯の増加などで、自治会に加入している人が年々減少してきています。「仕事が忙しくて関われない」、「活動内容が分からない」、「役員になりたくない」などの理由で自治会に加入していない方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

「自治会」は、地域に住む人が、安心して子育てができ、子どもが遊び、高齢者や障害者も不安を持たずに生活することができる「住みよい地域」づくりを進めるために、自主的に運営している団体です。お互いに助け合い、地域のさまざまな問題をみんなで考え、解決するための活動を行っています。

「お互いさま」の意識を持って

もしも自治会がなかったらどうでしょう？

- ▼大きな災害が発生したとき、協力しあって命を守れますか？
- ▼子ども達の見守りがなかったら、子ども達は登下校や放課後を安心して過ごせますか？
- ▼花のあるまちや、ごみのないまちを維持することができますか？

一緒にできることから始めませんか？

市内にある123自治会は、その地域ごとの特色を生かしつつ、工夫をしながら活動しています。あなたのお住まいの地域の自治会活動に、できることから参加してみませんか？

入会手続きや活動内容、自治会費などは自治会によって異なりますので、気になることはお住まいの地域の自治会長にお尋ねください。お住まいの地域の自治会が不明な場合は、協働自治推進課へお問い合わせください。また、狭山市地域ポータル「さやまシルシ」で検索することもできます。



問合せ協働自治推進課へ内線2512